

産地パワーアップ事業の取組事例

(滋賀県)

取組の概要

取組の概要 : ナシ選果施設の増強
計画作成主体 : 彦根市農業再生協議会
対象品目 : ナシ(産地面積: 10.4ha)
主な取組主体 : 東びわこ農業協同組合
成果目標 : 10a当たり販売額の10%以上の増加
助成金の活用 : 整備事業(集出荷施設)
状況

ポイント

今後、約5haが成園となることから、収穫量の増加を見通して選果施設を増強するとともに、外部及び内部品質センサー付き選果機を導入し、高品質果実の安定出荷による販売額の10%以上の増加を実現。

地区の概要



滋賀県
彦根市
石寺地区

産地の現状と目標

〈現状: H27年度〉

作付面積: 10.4ha(出荷数量: 167t)
処理能力: 5,000個/時

〈目標: H30年度〉

作付面積: 10.4ha(出荷数量: 238t)
処理能力: 10,000個/時



推進体制

地域の関係者(彦根市、東びわこ農業協同組合、農業関係者、商工会議所等)が一体となり、事業を推進。

地域における独自の取組

〈主な取組〉

○ 共同防除を徹底するとともに、土壤診断に基づいた土壌改良を励行し、若木園の早期成園化に取り組む。

〈県・市町村単独事業〉

○ (市) 選果施設増強事業に対し、市単独助成を実施するとともに、商工会議所等と連携したPR事業に取り組み、特産品である彦根梨のブランド力向上を図る。

事業効果

- 処理能力の向上により、労働費を削減。さらに、外部及び内部品質センサー付き選果機を導入することにより、高品質果実の安定出荷を実現。
- 販売額の増加により、生産者の所得が向上し、彦根梨の産地強化を実現。

～ナシの販売額～

